

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○		○		○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社メタップス	本社所在地	東京都
業種	サービス業(他に分類されないもの)	総従業員数	68名
事業概要	ITを利用した FINANCE、MARKETING、DX SUPPORT等		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規程
テレワーク担当部署	人事総務部
テレワーク対象者	全職種、全従業員
実施者数	68名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2018年1月1日より妊娠中や育児・介護を行う社員、通勤が困難な社員、システムエンジニア社員を対象に、原則月4回を上限とし、社員のワークライフバランスの確保、生産性・効率性向上、台風や地震などに伴う非常時の事業継続(BCP対応)の為に導入。
- 新型コロナウイルス感染症の流行により、2020年1月より臨時的に対象範囲を限定せず全社員に適用を拡大。
- 2021年7月の本社移転に伴いテレワーク勤務規程を改訂、テレワーク勤務をベースとし、リアルコミュニケーションの為の出勤勤務とのハイブリッド型勤務体制へ完全移行した。
- これに先立ち2021年4月に在宅勤務支度金(一時金)や在宅勤務手当(月次定額)の支給を行い、社員のテレワーク勤務の全面的な支援を行っている。

テレワークの概要・特徴

- ワークライフバランスに配慮して、個人の特性、価値観、家庭事情等により柔軟な対応を認めることで、創造性の発揮によるイノベーションを促進し、生産性の向上をはかるとともに、緊急時にも対応可能な事業継続力を高めることを目的としている。
- テレワーク勤務の種類:在宅勤務、モバイル勤務、サテライト勤務
- リアルコミュニケーションの場として週1回の出勤勤務、他の曜日については原則、テレワーク勤務としている。但し、自宅での業務が難しい場合や、出社が必要な業務の日は出勤可能としている。緊急事態宣言中は全日のテレワーク勤務も可能。
- また、テレワーク勤務とフレックスタイム制の併用の為、社員個々の働き方がより柔軟になった。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- テレワーク勤務の対象を拡大した事によって、新型コロナウイルス感染症感染リスクの低減に繋がり、社員の健康・安全の守るとともに、非常時の事業継続BCP対応が実現できた。
- ひいては、当社の取り組みが社会全体の安全(コロナ対策)に繋がったと考えている。
- 働く場所を選ばない事で、社員(地方在住、障がい者、育児・介護者)の働きやすい環境を整備出来た。
- フルリモートでのインターン生の受け入れ拡大や業務委託者など協力者も大幅に増えており、これまでではメタップスに参画できなかった層とともに働くことが実現でき、首都圏以外における雇用創出に寄与した。